

## 新たな歴史と伝統がスタート！ ～新生志津川中学校開校式～

通学区域の再編により、3月末で閉校した入谷中学校と統合した新生志津川中学校の開校式が、4月8日(水)志津川中学校体育館で行われました。

開校式には、町関係者や中学校の歴代PTA会長など約100人と2年生以上の生徒約190人が出席し、新しく始まる歴史と伝統に心を引き締めていました。また、生徒を代表して、3年生の高橋洋介さん(㊟天王前)と阿部杏奈さん(㊟桜沢)の2人が「新生志津川中学校の一員として、入谷中学校と志津川中学校の伝統を大切にしながら、新しい志津川中学校の伝統をつくります。」と力強く宣誓しました。



## 安全運転をお願いします！

4月10日(金)、歌津字柘沢地区にある国道45号線沿いのパーキングで、「交通安全ワカメ作戦」が行われました。

歌津地区交通安全協会の皆さんと南三陸警察署の協力のもと、伊里前小学校4年生の子どもたち30人が参加し、署員がパーキングに誘導したドライバーに、「安全運転をお願いします！」と元気に声をかけて、袋に入ったワカメを手渡しました。

この日準備されたワカメは、子どもたちが種はさみや芯抜きなど心を込めて作った湯通し塩蔵ワカメ200個で、受け取ったドライバーは「ありがとうございます。」と笑顔を見せていました。



一生懸命に育てたワカメです

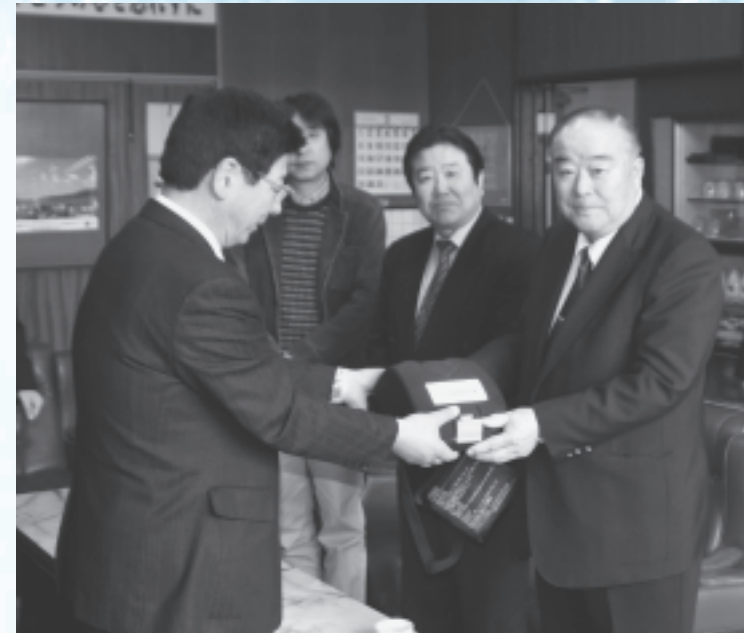
## スポーツをとおして 健康な体と心を養います

4月10日(金)、ベイサイドアリーナ体育館を会場にスポーツ少年団結団式が行われ、町内の14のスポーツ少年団やその関係者などが参加し、お互いの結束と交流を深めました。

団員を代表して、名足小シーガールズの三浦柊くん(㊟田の浦)が誓いの言葉を述べたあと、恒例となった綱引大会が行われ、ランダムに編成された8チームに分かれて、大きな声援のなか一生懸命に綱を引っ張りました。また、子どもたちが綱引をしている間、文化交流ホールでは親の会の皆さんを対象とした研修会が開催され、「スポーツ少年団とは」と題して、親の会のあり方などの講話が話されました。



一致団結して綱を引っ張りました



## 大事に使わせて いただきます

3月27日(金)、気仙沼法人会志津川支部の代表4名が町長室を訪れ、AED(自動体外式除細動器)1台が町に寄贈されました。

気仙沼法人会では社会貢献事業の一環として、福祉事業活動を展開している団体の表彰や公共施設への寄贈などを毎年行っており、昨年は公立志津川病院に乗り合いタクシー待合所(雨よけ)の寄贈を行っています。

沼倉正夫支部長は「万が一の際に使用してください。」と町長にAEDを手渡し、町長は「大事に使用させていただきます。」とお礼を述べました。

## 慈恵園のホールで鹿子が舞う

4月5日(日)、特別養護老人ホーム慈恵園のホールで、行山流水戸辺鹿子踊保存会の皆さんによる鹿子踊りが披露され、施設入居者など大勢の方が参観しました。

慈恵園での訪問披露は、10年以上前から毎年続けられており、今回は、この春戸倉小学校を卒業した卒業生8人が中心となって踊りを披露しました。小学5年生の12月から、毎週土曜日に保存会の皆さんの指導のもと練習を積み重ねてきました。踊りを披露した小野寺翔さん(㊟綱木沢)は、「疲れたけどうまくできましたと思います。おじいさんやおばあさん達に喜んでもらってよかったです。」と、うれしそうに話しました。



皆さんは、この目を楽しみにしていました

## みんなで楽しく山里めぐり

4月12日(日)、昨年開通した、ふるさと農道「木もれ陽の道」一帯を会場に、「木もれ陽の道 水仙まつり」が開催され、子ども連れの親子など約140人が参加しました。

この企画は、入谷9区の地元住民を中心に構成される「石の平巨石を守る会」の皆さんが、地域のみんなで育てた約1キロメートルの水仙ロードを、たくさんの人に親んでもらおうと初めて企画したものです。

町観光協会認定の地域ガイドが案内を務め、「神行堂山の巨石」や「なまこ石」などの名所をめぐりながら、坂の貝峠のあずま屋を目指しました。沿道にきれいに咲いた水仙が目をはき、お昼には地元婦人部の皆さんからトン汁が無料で提供され、楽しい山里めぐりとなったようです。



見事に咲いた沿道の水仙

新鮮な山の空気に包まれて  
たのしいお昼